

平成 20 年度施策評価表

① 総合計画	まちづくりの目標	8 章 計画の推進に向けて		
	施策(大柱)	1 節 市民との協働	H20	117,033 千円
	中柱	2 市政情報の共有化	H20 実施計画事業費合計	94,914 千円
		3 行政サービスの向上		17,218 千円
				千円
			千円	
施策に関係する所属	政策企画課、秘書広報課、情報統計課、管財課、市民相談課、市民課、市政情報センター、消防本部、議会事務局、選挙管理委員会			

② 施策の概要	1) 基本方針及び施策の目的	○市・市民、団体、事業者との協働によるまちづくりを一層進める。 ○市政情報の共有化を進めるため、情報公開制度の充実をはかり、市民が必要とする情報を容易に入手できる環境を整備する。 ○一層の安全性・信頼性を高めるため、個人情報保護などの情報セキュリティ対策につとめる。 ○市民生活の利便性を高め、誰もが利用しやすい行政サービスを提供する。
	2) 施策の具体的な内容及び実施方法	○市民参画の推進 協働のまちづくりを進める基本条例を制定し、市民参画のシステムの確立、広聴機能の向上を図り、市民の声の収集活動を充実して、地域の知的資源を活用した協働のまちづくりを推進する。 ○市政情報の共有化 市政情報を手軽に入手できる仕組みと、市民ニーズに対応した市政情報の提供に即した広報誌やホームページの充実を図る。 ○行政サービスの向上 個人情報の保護対策を充実し、市民の利益性を考慮した窓口サービスの向上を図り、誰もが利用しやすい公共施設として、ユニバーサルデザインの視点で行政サービスを提供する。
	3) 分野別計画、指針	○所沢市文化振興指針「もいちど 見・つ・め・て とろろざわ」 ○行政改革大綱『「行政経営」有言実行宣言』 ○所沢市行政経営推進プラン ○所沢市電子市役所アクションプランⅡ
	4) 関連・類似施策	○1-1環境との共生 ○1-2公園・緑地 ○1-3環境保全 ○3-1地域福祉 ○3-2児童福祉 ○3-3高齢者福祉 ○3-4障害者福祉 ○4-1生涯学習 ○4-3青少年育成 ○4-4社会教育 ○4-6生涯スポーツ ○6-2防災 ○6-3防犯 ○7-1地域コミュニティ ○7-3人間尊重社会 ○7-4男女共同参画 ○7-5国際化社会 ○8-2広域行政 ○8-3行政運営 ○8-4財政運営
	5) 施策に対する市民ニーズ	『平成19年度所沢市市民意識調査』(20歳以上の男女、無作為抽出による2000人を対象とし、平成19年11月に実施。831人より回収。)における、全43施策についての市民要望の確認(複数回答可)の結果です。

6) 施策に係る基礎数値				
項目名	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度
情報公開請求のあった公文書数	文書	2,496	3,458	3,197
情報公開された公文書数	文書	2,462	3,440	3,177
審議会等の開催回数	回	344	362	366
公開された審議会等の回数	回	78	80	90
市ホームページコンテンツ数(年度末現在)	ページ	2,551	3,067	3,402

③ 優先的に取り組む事業	事務事業名	成果指標名	指標の説明	単位	H19目標	H19実績	達成率%	将来目標
	010110 (仮称)まちづくり基本条例制定事業	講演会・勉強会参加者がこの条例を必要と思った率	アンケートより「必要」との回答数/講演会及び勉強会参加者数	%	60.0	50.7	84.5	
	010508 ラジオ版「広報とろろざわ」放送事業	ラジオ放送合計時間	広報とろろざわラジオ版+FMチャッピー出演+さいたま放送局出演	分	1,098	1,183	107.7	
※「優先的に取り組む事業」とは、第4次所沢市総合計画・実施計画において、特に優先的に資源配分を行うとしたAランク事業のことです。H19年度でのAランク事業は、全体として67事業です。なお、この欄には、これらAランク事業の中で、「①総合計画一中柱」に位置づけられたものが記入されます。								

④ 5年後の目標/成果指標	指標名	説明	単位	基準値	H18	H19	H20	H21	H22	将来目標	
	【5年後の目標】 窓口サービスの満足度	市民生活の利便性を高め、誰もが利用しやすい行政サービスを測る指標	%	年度	目標値	68.9	70.4	72.0	73.5	75.0	年度22
				実績値	77.8	72.8	実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2		1	目標値	
				達成率	112.9%	103.4%				75.0	
	【5年後の目標】 市ホームページの年間アクセス件数	市民との情報の共有化を測るための指標	件	年度	目標値	930,365	947,773	965,182	982,591	1,000,000	年度22
				実績値	824,072	996,546	実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2		1	目標値	
				達成率	88.6%	105.1%				1,000,000	
				年度	目標値						年度
				実績値			実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2			目標値	
				達成率							
			年度	目標値						年度	
			実績値			実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2			目標値		
			達成率								

⑤ 平成19年度中に取り組んだ改革・改善点や、新たに実施した事業等、特徴的な取り組み	市長への手紙は、市政に関する意見・提案を寄せる市民の市政参加への制度であり、協働のまちづくりを推進するため、寄せられた意見内容を公開した。主に前年度受付し回答したものの中から、多く寄せられたご意見などをQA形式により、市ホームページで公開した。
--	--

⑥ 評価(課題及び目標)	1) 平成19年度評価により明らかとなった課題、及び新たに認識された課題	現在の進捗状況				
	市政懇談会は要請のあった団体等と開催しているが、開催方法等に硬直化が見られるものの、さまざまな手段により広聴の充実をはかることから、1手法としての見直しを図る。	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input type="checkbox"/> 順調に推移	<input checked="" type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向
		<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向
		<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向
		<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向

方向性	2) 平成20年度における目標設定	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)
		タウンミーティングを開催し、「市民と市長との対話」により、市民の意見・要望を直接的に双方向で聴き、市政への理解を求め施策に反映させる。	市の施策に関する取り組みなどのテーマを設定するなど、11行政区を会場に順次開催する。また、その結果を公表する。	年度末まで
	3) 今後の方向性(事務事業の重点化・効率化、実施手段の見直し、他施策との連携、市民との協働 など)	タウンミーティングの開催方法など実施上の課題を把握し、市民と行政が一体となった市政運営を展開させ、さらなる協働のまちづくりを推進するため、広聴活動の強化及び窓口サービスの向上に取り組む。		
評価日	平成20年8月5日	記入者職氏名	市民経済部市民相談担当 参事 糸谷 秀夫	

平成 20 年度施策評価表

① 総合計画	まちづくりの目標	8 章 計画の推進に向けて		
	施策(大柱)	1 節 市民との協働	H20	117,033 千円
	中柱	1 市民参画の推進	4,901 千円	※「H20実施計画事業費合計」は、当該計画に主要な事業と位置づけられた事務事業について、各施策、各中柱でそれぞれ合計した事業費です。
		3 行政サービスの向上	17,218 千円	
			千円	
		千円		
施策に関係する所属	政策企画課、秘書広報課、情報統計課、管財課、市民相談課、市民課、市政情報センター、消防本部、議会事務局、選挙管理委員会			

② 施策の概要	1)基本方針及び施策の目的
	○市・市民、団体、事業者との協働によるまちづくりを一層進める。 ○市政情報の共有化を進めるため、情報公開制度の充実をはかり、市民が必要とする情報を容易に入手できる環境を整備する。 ○一層の安全性・信頼性を高めるため、個人情報保護などの情報セキュリティ対策につとめる。 ○市民生活の利便性を高め、誰もが利用しやすい行政サービスを提供する。
	2)施策の具体的な内容及び実施方法
	○市民参画の推進 協働のまちづくりを進める基本条例を制定し、市民参画のシステムの確立、広聴機能の向上を図り、市民の声の収集活動を充実して、地域の知的資源を活用した協働のまちづくりを推進する。 ○市政情報の共有化 市政情報を手軽に入手できる仕組みと、市民ニーズに対応した市政情報の提供に即した広報誌やホームページの充実を図る。 ○行政サービスの向上 個人情報の保護対策を充実し、市民の利益性を考慮した窓口サービスの向上を図り、誰もが利用しやすい公共施設として、ユニバーサルデザインの視点で行政サービスを提供する。
	3)分野別計画、指針
○所沢市文化振興指針「もいちど 見・つ・め・て ところざわ」 ○行政改革大綱『「行政経営」有言実行宣言』 ○所沢市行政経営推進プラン ○所沢市電子市役所アクションプランⅡ	

③ 優先的に取り組む事業	4)関連・類似施策											
	○1-1環境との共生 ○1-2公園・緑地 ○1-3環境保全 ○1-4地域福祉 ○1-5児童福祉 ○1-6高齢者福祉 ○1-7障害者福祉 ○4-1生涯学習 ○4-3青少年育成 ○4-4社会教育 ○4-6生涯スポーツ ○6-2防災 ○6-3防犯 ○7-1地域コミュニティ ○7-2民間福祉社会 ○7-4男女共同参画 ○7-5国際化社会 ○8-2地域行政 ○8-2行政運営 ○8-4財政運営											
	5)施策に対する市民ニーズ											
	『平成19年度所沢市市民意識調査』(20歳以上の男女、無作為抽出による2000人を対象とし、平成19年11月に実施。831人より回収。)における、全43施策についての市民要望の確認(複数回答可)の結果です。											
	<table border="1"> <tr> <th>要望者数</th> <th>要望率</th> <th>全施策中順位</th> <th>分野中順位</th> </tr> <tr> <td>278 人</td> <td>33.5 %</td> <td>12 位</td> <td>2 位</td> </tr> <tr> <td>831</td> <td></td> <td>43</td> <td>4</td> </tr> </table>	要望者数	要望率	全施策中順位	分野中順位	278 人	33.5 %	12 位	2 位	831		43
要望者数	要望率	全施策中順位	分野中順位									
278 人	33.5 %	12 位	2 位									
831		43	4									

④ 評価(課題及び目標)	6)施策に係る基礎数値				
	項目名	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度
	情報公開請求のあった公文書数	文書	2,496	3,458	3,197
	情報公開された公文書数	文書	2,462	3,440	3,177
	審議会等の開催回数	回	344	362	366
	公開された審議会等の回数	回	78	80	90
市ホームページコンテンツ数(年度末現在)	ページ	2,551	3,067	3,402	

事務事業名	成果指標名	指標の説明	単位	H19目標	H19実績	達成率%	将来目標
010110 (仮称)まちづくり基本条例制定事業	講演会・勉強会参加者がこの条例を必要と思った率	アンケートより「必要」との回答数/講演会及び勉強会参加者数	%	60.0	50.7	84.5	
010508 ラジオ版「広報ところざわ」放送事業	ラジオ放送合計時間	広報ところざわラジオ版+FMチャッピー出演+さいたま放送局出演	分	1,098	1,183	107.7	
※「優先的に取り組む事業」とは、第4次所沢市総合計画・実施計画において、特に優先的に資源配分を行うとしたAランク事業のことです。H19年度でのAランク事業は、全体として67事業です。なお、この欄には、これらAランク事業の中で、「①総合計画一中柱」に位置づけられたものが記入されます。							

指標名	説明	単位	基準値	H18	H19	H20	H21	H22	将来目標	
【5年後の目標】 窓口サービスの満足度	市民生活の利便性を高め、誰もが利用しやすい行政サービスを測る指標	%	年度	目標値	68.9	70.4	72.0	73.5	75.0	年度 22
			実績値	77.8	72.8	実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2		1	目標値	
			達成率	112.9%	103.4%				75.0	
【5年後の目標】 市ホームページの年間アクセス件数	市民との情報の共有化を測るための指標	件	年度	目標値	930,365	947,773	965,182	982,591	1,000,000	年度 22
			実績値	824,072	996,546	実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2		1	目標値	
			達成率	88.6%	105.1%				1,000,000	
【5年後の目標】 市民との協働によるまちづくりの推進	協働のまちづくりを進める基本条例を制定し、市民参画のシステムの確立、広聴機能の向上を図り、市民の声の収集活動を充実して、地域の知的資源を活用した協働のまちづくりを推進する。	%	年度	目標値						年度 22
			実績値			実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2			目標値	
			達成率							
【5年後の目標】 ユニバーサルデザインの視点で行政サービスを提供する	誰もが利用しやすい公共施設として、ユニバーサルデザインの視点で行政サービスを提供する。	%	年度	目標値						年度 22
			実績値			実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2			目標値	
			達成率							

⑤平成19年度中に取り組んだ改革・改善点や、新たに実施した事業等、特徴的な取り組み

市民参画の基本ともいえる「まちづくり基本条例」の策定に向け、市民・職員両者の関心を高めるために、市民向け勉強会、職員を対象とした研修会の実施回数を増やした。

また、年齢、性別、能力の違い等にかかわらず、すべての人が心豊かに暮らせる社会を創っていくために、「ユニバーサルデザイン推進基本方針」を平成20年3月に策定した。

1)平成19年度評価により明らかとなった課題、及び新たに認識された課題	現在の進捗状況			
(仮称)まちづくり基本条例策定への取り組み	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず <input type="checkbox"/> 悪化傾向
ホームページの内容の充実	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず <input type="checkbox"/> 悪化傾向
情報セキュリティ対策の拡充	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず <input type="checkbox"/> 悪化傾向
ユニバーサルデザイン推進基本方針の周知	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず <input type="checkbox"/> 悪化傾向
	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず <input type="checkbox"/> 悪化傾向

2)平成20年度における目標設定	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)
(仮称)まちづくり基本条例策定への取り組み	昨年度に比して、市民の理解、関心を高める取り組みをより積極的に進め、参加者実績の向上を目指す。策定に向け、市民、職員それぞれに具体的な検討組織の立ち上げる	平成21年3月
ユニバーサルデザイン(UD)推進基本方針の周知	市広報紙、ホームページ、情報誌等を通じ広く周知を図るとともに、UDIに配慮した製品や商品、事業所等の情報収集・発信、小中学生を対象にUDの視点からの街並み探検等を実施し、理解を深める	平成21年3月

3)今後の方向性(事務事業の重点化・効率化、実施手段の見直し、他施策との連携、市民との協働 など)

協働のまちづくりを進める上で大きな役割を果たす「仮称 まちづくり基本条例」の制定にあたっては、これまで市民自らが積極的に関わっていくという機運と環境づくりに取り組んできたところである。今後は、そうした環境整備とともに、市として目指すべき条例の姿やその策定方法等より具体的な内容について詰めていく必要がある。

また、情報提供の大きな柱であるホームページについても、一層の分かりやすさ、使いやすさを目指して再構築されるが、その中で市民の利便性向上のために、オンラインを利用したサービスの提供に努める必要がある。合わせて、市民の信頼関係を一層に高めていくために、情報セキュリティ対策についても不断の努力を続けていかななくてはならない。

「ユニバーサルデザイン推進基本方針」は、第4次総合計画後期基本計画の中で横断的に取り組むべき4つの主要課題に位置づけられている「ユニバーサルデザインの取り組み」の一環として、昨年度策定されたものである。

今後、この基本方針について、様々な機会を通じて職員にはもとより、市民、事業者への周知、定着に努めていく。

平成 20 年度施策評価表

① 総合計画	まちづくりの目標	8 章 計画の推進に向けて			
	施策(大柱)	1 節 市民との協働	H20	117,033 千円	
	中柱	1 市民参画の推進	H20 実施計画事業費合計	4,901 千円	※「H20実施計画事業費合計」は、当該計画に主要な事業と位置づけられた事務事業について、各施策、各中柱でそれぞれ合計した事業費です。
		2 市政情報の共有化		94,914 千円	
				千円	
			千円		
施策に係る所属	政策企画課、秘書広報課、情報統計課、管財課、市民相談課、市民課、市政情報センター、消防本部、議会事務局、選挙管理委員会				

1)基本方針及び施策の目的

○市・市民、団体、事業者との協働によるまちづくりを一層進める。 ○市政情報の共有化を進めるため、情報公開制度の充実をはかり、市民が必要とする情報を容易に入手できる環境を整備する。 ○一層の安全性・信頼性を高めるため、個人情報保護などの情報セキュリティ対策につとめる。 ○市民生活の利便性を高め、誰もが利用しやすい行政サービスを提供する。

2)施策の具体的な内容及び実施方法

○市民参画の推進 協働のまちづくりを進める基本条例を制定し、市民参画のシステムの確立、広聴機能の向上を図り、市民の声の収集活動を充実して、地域の知的資源を活用した協働のまちづくりを推進する。 ○市政情報の共有化 市政情報を手軽に入手できる仕組みと、市民ニーズに対応した市政情報の提供に即した広報誌やホームページの充実を図る。 ○行政サービスの向上 個人情報の保護対策を充実し、市民の利益性を考慮した窓口サービスの向上を図り、誰もが利用しやすい公共施設として、ユニバーサルデザインの視点で行政サービスを提供する。

3)分野別計画、指針

○所沢市文化振興指針「もいちど 見・つ・め・て とこざわ」 ○行政改革大綱『「行政経営」有言実行宣言』 ○所沢市行政経営推進プラン ○所沢市電子市役所アクションプランⅡ

4)関連・類似施策

○1 環境との共生 ○2 公園・緑地 ○3 環境保全 ○4 地域福祉 ○5 児童福祉 ○6 高齢者福祉 ○7 障害者福祉 ○8 1生涯学習 ○9 青少年育成 ○10 社会教育 ○11 生涯スポーツ ○12 防災 ○13 防犯 ○14 地域コミュニティ ○15 子育て支援 ○16 男女共同参画 ○17 国際化社会 ○18 2地域行政 ○19 2行政運営 ○20 4財政運営

5)施策に対する市民ニーズ

『平成19年度所沢市市民意識調査』(20歳以上の男女、無作為抽出による2000人を対象とし、平成19年11月に実施。831人より回収。)における、全43施策についての市民要望の確認(複数回答可)の結果です。

要望者数	要望率	全施策中順位	分野中順位
278 人	33.5 %	12 位	2 位
831		43	4

② 施策の概要

6) 施策に係る基礎数値

項目名	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度
情報公開請求のあった公文書数	文書	2,496	3,458	3,197
情報公開された公文書数	文書	2,462	3,440	3,177
審議会等の開催回数	回	344	362	366
公開された審議会等の回数	回	78	80	90
市ホームページコンテンツ数(年度末現在)	ページ	2,551	3,067	3,402

③ 優先的に取り組む事業

事務事業名	成果指標名	指標の説明	単位	H19目標	H19実績	達成率%	将来目標
010110 (仮称)まちづくり基本条例制定事業	講演会・勉強会参加者がこの条例を必要と思った率	アンケートより「必要」との回答数/講演会及び勉強会参加者数	%	60.0	50.7	84.5	
010508 ラジオ版「広報とこざわ」放送事業	ラジオ放送合計時間	広報とこざわラジオ版+FMチャッピー出演+さいたま放送局出演	分	1,098	1,183	107.7	

※「優先的に取り組む事業」とは、第4次所沢市総合計画・実施計画において、特に優先的に資源配分を行うとしたAランク事業のことです。H19年度でのAランク事業は、全体として67事業です。なお、この欄には、これらAランク事業の中で、「①総合計画一中柱」に位置づけられたものが記入されます。

指標名	説明	単位	基準値	H18	H19	H20	H21	H22	将来目標	
【5年後の目標】 窓口サービスの満足度	市民生活の利便性を高め、誰もが利用しやすい行政サービスを測る指標	%	年度	目標値	68.9	70.4	72.0	73.5	75.0	年度 22
			実績値	77.8	72.8	実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2		1	目標値	
			達成率	67.4	112.9%	103.4%			75.0	
【5年後の目標】 市ホームページの年間アクセス件数	市民との情報の共有化を測るための指標	件	年度	目標値	930,365	947,773	965,182	982,591	1,000,000	年度 22
			実績値	824,072	996,546	実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2		1	目標値	
			達成率	742,325	88.6%	105.1%			1,000,000	
		%	年度	目標値						年度
			実績値				実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2			目標値
			達成率							
		%	年度	目標値						年度
			実績値				実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2			目標値
			達成率							

⑤ 平成19年度中に取り組んだ改革・改善点や、新たに実施した事業等、特徴的な取り組み

(仮称)まちづくり基本条例策定に向けての市民の機運を盛り上げるため、勉強会の開催を2回追加した。さらに、条例に対する職員の認識度をさらに高めるため、研修会を1回追加実施した。広報作りの市民参加の一環として、これまでに市民カメラマンの登用・増員を行ってきたが、19年度は、写真だけでなく映像部門のカメラマンの登用を行ない、DVDなどによる映像記録の作成を始めた。

⑥ 評価(課題及び目標)

1) 平成19年度評価により明らかとなった課題、及び新たに認識された課題	現在の進捗状況				
(仮称)まちづくり基本条例策定への取組み	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向
ホームページの内容の充実	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input checked="" type="checkbox"/> 予定以上	<input type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向
情報セキュリティ対策の拡充	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向
官学連携の充実	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向
窓口サービスの満足度の向上	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input checked="" type="checkbox"/> 予定以上	<input type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向

2) 平成20年度における目標設定

今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)
(仮称)まちづくり基本条例策定に向けた講演会・勉強会・模擬ワークショップ・シンポジウムの開催	講演会4回、勉強会8回を開催し、昨年度以上の参加実績を目指す。模擬ワークショップ、シンポジウムを各1回開催し、市民検討組織への参加につなげる。	平成20年11月
ホームページの再構築	市政に関する情報を、さらに積極的に提供することはもとより、誰にも「使いやすい」「分かりやすい」「役に立つ」ホームページの実現を目指す。	平成20年12月

3) 今後の方向性(事務事業の重点化・効率化、実施手段の見直し、他施策との連携、市民との協働 など)

(仮称)まちづくり基本条例策定事業は、第4次総合計画・後期基本計画の重点事業に位置づけられており、市長マニフェストでも2年以内の実施が掲げられている。懇話会の意見を十分に尊重しながら「みんなで作る」という協働意識のもと、市民をはじめ、団体、事業者、市議会等の意見を集約して進めていくことが必要である。そのために、策定に向けての市民の機運を盛り上げていくため、市民に対する十分な情報提供と合わせあらゆる手段を利用したPRを行なっていくことにより、市民自らが積極的に関わっていく環境づくりに配慮しながら進めていくことが望ましい。

また、市政の情報提供にあたっての中心的手段となる、「広報とこざわ」については、これまでの市民カメラマンの登用を映像部門まで拡大したことにより、市民参加の機会をさらに進め、「ホームページの再構築」についても、よりきめ細やかな情報提供サービスを可能とするシステムを構築することを基本に、コンテンツ評価機能やメールマガジン配信、動画配信などの機能を追加することにより、市民との情報共有を積極的に進めるものとする。

なお、窓口サービスの満足度の把握・向上と併せて、市政全般について、広く市民の声を効果的に市政に反映するためにも、市民意識調査を毎年実施することが必要である。